



2019 年 10 月 3 日

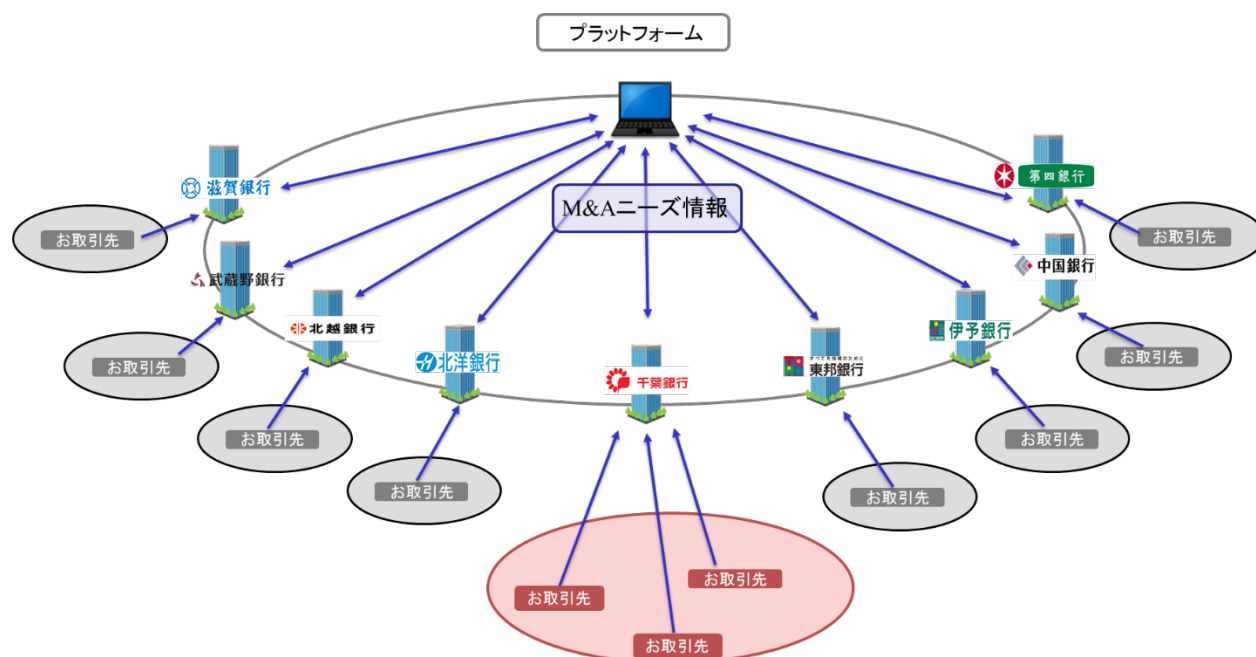
TSUBASAアライアンス参加行によるM&A業務プラットフォームの構築について ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2019 年 10 月 3 日（木）より、「TSUBASAアライアンス」※連携施策として、参加 9 行（以下「TSUBASA行」）でM&A業務プラットフォームを構築し、銀行の垣根を超えたマッチング活動に取り組みます。

M&A業務プラットフォームとは、各行の取引先企業のM&Aニーズを登録した共通のデータベースです。TSUBASA行は、自行のお客さまから事業承継や事業拡大・整理などのM&Aに関するご相談を受けた場合、本プラットフォームに情報を登録するとともに、データベースを活用して他のTSUBASA行とマッチング候補企業について情報交換を行い、紹介先を選定いたします。

TSUBASAアライアンス行は、営業地域の異なる 9 行の広域ネットワークを活用することで、M&Aやビジネスマッチングなどのお客さまの本業支援に積極的に貢献し、より付加価値の高いソリューションの提供に努めてまいります。

【M&A業務プラットフォームを活用したマッチング活動のイメージ図】



※千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の 9 行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上